

第78回～第81回国民体育大会における隔年実施競技の実施 順序決定に伴う第80回国民体育大会会場地市町村第一次選定 の一部内定取消

第80回国民体育大会会場地市町村第一次選定（平成29年4月19日第2回
常任委員会決定）のうち、次の競技の内定を取り消す。

市町村名	競技・種目名	種別	開催予定施設
青森市	ボクシング	全種別	青森産業会館

理由：平成29年6月16日に開催された平成29年度第1回国民体育大会委
員会において、第78回～第81回国民体育大会における隔年実施競技（ボ
クシング、クレー射撃）の実施順序が決定し、青森県で開催する第80回国
民体育大会では、クレー射撃を実施することとなったため。

第80回国民体育大会会場地市町村第二次選定

【市町村別】

No	市町村名	競技・種目名		種別	開催予定施設
1	青森市	軟式野球		成年男子	青森県営野球場 青森市営野球場
		ライフル射撃	C P	成年男子	青森県警察学校射撃場
		スポーツクラ イミング	リード	全種別	盛運輸アリーナ
			ボルダリング	全種別	
2	弘前市	クレール射撃		全種別	弘前クレール射撃場
3	三沢市	軟式野球		成年男子	三沢市民運動広場野球場
		銃剣道		全種別	三沢市国際交流スポーツセンター
4	むつ市	ボート		全種別	むつ市大湊特設ボート場
		セーリング		全種別	大平マリーナ
5	六戸町	軟式野球		成年男子	六戸町総合運動公園野球場

【競技別】

No	競技・種目名		種別	市町村名	開催予定施設
1	ボート		全種別	むつ市	むつ市大湊特設ボート場
2	セーリング		全種別	むつ市	大平マリーナ
3	軟式野球		成年男子	青森市	青森県営野球場 青森市営野球場
				三沢市	三沢市民運動広場野球場
				六戸町	六戸町総合運動公園野球場
4	ライフル射撃	C P	成年男子	青森市	青森県警察学校射撃場
5	銃剣道		全種別	三沢市	三沢市国際交流スポーツセンター
6	クレール射撃		全種別	弘前市	弘前クレール射撃場
7	スポーツクラ イミング	リード	全種別	青森市	盛運輸アリーナ
		ボルダリング	全種別		

(留意事項)

開催予定施設は、競技が開催できる能力を有する施設として判断したものであり、今後、中央競技団体視察の結果等により、会場の追加・変更等が生じる場合がある。

第80回国民体育大会競技運営基本方針

第80回国民体育大会の競技運営は、公益財団法人日本体育協会（以下「日体協」という。）の定める国民体育大会開催基準要項及び同細則並びに第80回国民体育大会開催基本方針に基づくとともに、次の方針により実施する。

- 1 正式競技、公開競技及び特別競技の運営は、日体協加盟の各競技団体及び公益財団法人日本高等学校野球連盟が主管する。また、デモンストレーションスポーツの運営は、県競技団体等が主管する。
- 2 正式競技及び特別競技の競技役員等の編成は、日体協の定める「国民体育大会各競技会開催にあたる競技役員編成基準」及び「第80回国民体育大会競技役員等編成基本方針」に基づき行うものとする。
- 3 競技用具は、第80回国民体育大会競技用具整備基本方針に基づき競技運営に支障がないよう県及び会場地市町村において計画的に整備する。
- 4 競技記録及び成績の収集・速報は、県及び会場地市町村が競技団体と連携を図り、迅速かつ正確に処理する。
- 5 競技会の運営能力の向上を図るためにリハーサル大会を実施する場合は、会場地市町村と競技団体が協力して、運営全般にわたって習熟を図るとともに、県民の第80回国民体育大会及び各種競技に対する関心を高め、理解を深めるよう努めるものとする。
- 6 その他、競技運営の諸企画及び実施に当たっては、競技団体及び関係機関と十分な連携を図り、適切に行うものとする。

第80回国民体育大会競技用具整備基本方針

第80回国民体育大会（以下「大会」という。）の競技運営に要する器具・用具（以下「競技用具」という。）については、競技運営に万全を期するとともに、本県スポーツの普及・推進に資するため、次の方針に基づき計画的に整備する。

- 1 競技用具の整備に当たっては、「第80回国民体育大会県及び会場地市町村の業務分担・経費負担基本方針」及び「同細目」並びに別に定める「競技用具整備計画」に基づくものとする。
- 2 競技用具の整備に当たっては、県と会場地市町村が十分協議するとともに、県競技団体、公益財団法人日本体育協会及び中央競技団体と連携の上、推進するものとする。
- 3 競技用具は、原則として県及び会場地市町村並びに県競技団体等が現有するものを活用することとし、現有の競技用具で不足するものについては借用し、借用困難な場合についてのみ購入するものとする。
- 4 一般の利活用が見込めない競技用具や通常の競技会運営に必要な競技用具の量、質を超えて整備しなければならないものについては、別に定める。
- 5 購入する競技用具の保管及び大会終了後の利活用等については、県及び会場地市町村がそれぞれの責任において行うものとする。

第80回国民体育大会審判員・要資格運営員養成計画

1 趣旨

第80回国民体育大会の各競技会の円滑な運営と本県及び地域スポーツの一層の普及・振興を目的に、審判員及び要資格運営員の資格取得、資格維持及び資質向上を図るため、審判員・要資格運営員養成計画を作成し、計画的かつ円滑に事業を推進する。

2 基本的事項

下記に基づいて第80回国民体育大会審判員・要資格運営員養成計画を作成する。

- (1) 国民体育大会各競技開催にあたる競技役員編成基準 [(公財) 日本体育協会]
- (2) 第80回国民体育大会競技役員等編成基本方針
- (3) 第80回国民体育大会競技役員等養成基本方針
- (4) 第80回国民体育大会競技役員等養成基本計画
- (5) 競技団体役員数の現状

3 養成目標数

審判員及び要資格運営員の養成目標数 951人 (別表〈1〉)

4 養成年次計画

各競技団体が養成年次計画を作成して養成する。(別表〈2・3〉)

5 養成方法

中央講習会等への派遣及び県内講習会の開催等により養成する。

6 その他

毎年各競技団体の養成状況を確認し、適宜計画を見直すこととする。

第80回国民体育大会審判員・要資格運営員養成目標数

No.	内訳 競技名	競技 役員数	資格が必要な競技役員数			県外からの派遣数			県内 必要数 ⑦= ③-⑥	開催時 従事 見込数 ⑧	不足数 ⑨= ⑦-⑧	養成 目標数
			審判員 ①	要資格 運営員 ②	計 ③= ①+②	中央 ④	近県 ⑤	計 ⑥= ④+⑤				
1	陸上競技	427	310	0	310	16	0	16	294	294	0	0
2	水泳	390	58	207	265	48	70	118	147	74	73	96
3	サッカー	427	88	33	121	63	28	91	30	7	23	30
4	テニス	76	60	13	73	0	0	0	73	3	70	92
5	ボート	120	33	34	67	17	15	32	35	34	1	2
6	ホッケー	91	20	14	34	30	0	30	4	0	4	6
7	パレーボール	249	64	0	64	4	15	19	45	26	19	26
8	体操	364	89	18	107	55	21	76	31	18	13	18
9	バスケットボール	278	101	21	122	32	35	67	55	52	3	4
10	レスリング	183	36	14	50	36	10	46	4	0	4	6
11	セーリング	220	24	85	109	31	61	92	17	2	15	21
12	ウエイトリフティング	116	27	0	27	3	12	15	12	5	7	10
13	ハンドボール	181	39	0	39	39	0	39	0	0	0	0
14	自転車	211	152	14	166	59	39	98	68	57	11	15
15	ソフトテニス	182	96	0	96	2	25	27	69	58	11	15
16	卓球	192	96	0	96	19	11	30	66	60	6	8
17	軟式野球	256	64	0	64	4	5	9	55	36	19	25
18	相撲	169	60	0	60	7	8	15	45	22	23	30
19	馬術	111	41	15	56	30	18	48	8	4	4	6
20	フェンシング	76	25	0	25	14	0	14	11	0	11	15
21	柔道	127	31	37	68	33	0	33	35	33	2	3
22	ソフトボール	372	80	49	129	16	24	40	89	39	50	66
23	バドミントン	307	212	0	212	11	10	21	191	123	68	89
24	弓道	148	27	29	56	1	23	24	32	32	0	0
25	ライフル射撃	139	28	48	76	28	48	76	0	0	0	0
26	剣道	113	27	0	27	27	0	27	0	0	0	0
27	ラグビーフットボール	117	40	0	40	3	10	13	27	11	16	21
28	スポーツクライミング	113	23	86	109	20	4	24	98	5	93	122
29	カヌー	248	165	0	165	37	80	117	48	14	34	46
30	アーチェリー	89	31	14	45	5	29	34	11	0	11	15
31	空手道	188	43	0	43	33	5	38	5	1	4	6
32	銃剣道	99	27	38	65	14	2	16	49	1	48	63
33	クレー射撃	100	34	18	52	15	0	15	37	12	25	33
34	なぎなた	112	21	0	21	21	0	21	0	0	0	0
35	ボウリング	148	38	10	48	3	0	3	45	34	11	15
36	ゴルフ	162	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
37	トライアスロン	122	84	0	84	6	35	41	43	8	35	47
38	高校野球	144	35	0	35	0	0	0	35	35	0	0
合計		7,167	2,429	797	3,226	782	643	1,425	1,814	1,100	714	951

第80回国民体育大会審判員・要資格運営員養成年次計画
【資格取得】

No.	内訳 競技名	養成(資格取得)年次計画									延養成数
		H29 (8年前)	H30 (7年前)	H31 (6年前)	H32 (5年前)	H33 (4年前)	H34 (3年前)	H35 (2年前)	H36 (1年前)	H37 (開催年)	
1	陸上競技	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	水泳	0	12	12	12	20	20	20	12	0	108
3	サッカー	3	3	4	4	5	5	5	1	0	30
4	テニス	0	15	19	19	19	19	18	2	0	111
5	ボート	0	0	0	2	2	0	0	0	0	4
6	ホッケー	0	0	0	2	2	0	0	0	2	6
7	バレーボール	3	3	6	3	6	4	7	4	0	36
8	体操	4	9	10	9	6	7	4	3	0	52
9	バスケットボール	0	0	0	2	2	2	2	0	0	8
10	レスリング	0	1	0	2	0	2	0	1	0	6
11	セーリング	0	3	3	6	9	7	3	0	0	31
12	ウエイトリフティング	0	0	0	2	2	2	2	2	0	10
13	ハンドボール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14	自転車	1	0	3	4	4	3	3	0	0	18
15	ソフトテニス	2	2	2	2	2	2	2	1	0	15
16	卓球	0	4	6	2	0	0	0	0	0	12
17	軟式野球	0	7	5	5	5	5	0	0	0	27
18	相撲	5	5	5	11	11	11	6	6	0	60
19	馬術	0	0	2	2	0	2	0	0	0	6
20	フェンシング	2	2	2	2	2	2	2	1	0	15
21	柔道	0	1	1	2	1	1	0	0	0	6
22	ソフトボール	7	5	16	17	11	11	11	11	0	89
23	バドミントン	12	12	12	28	27	27	15	5	0	138
24	弓道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25	ライフル射撃	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26	剣道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27	ラグビーフットボール	2	2	3	3	3	3	3	2	0	21
28	スポーツクライミング	3	3	4	40	39	20	17	0	0	126
29	カヌー	0	6	9	14	12	11	2	2	0	56
30	アーチェリー	0	0	5	5	5	0	0	3	0	18
31	空手道	0	1	1	1	1	1	1	0	0	6
32	銃剣道	20	0	12	20	0	12	23	0	0	87
33	クレール射撃	0	6	9	9	8	8	5	0	0	45
34	なぎなた	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
35	ボウリング	34	3	3	3	6	3	1	0	0	53
36	ゴルフ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
37	トライアスロン	7	7	15	9	15	7	12	0	0	72
38	高校野球	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計		105	112	169	242	225	197	164	56	2	1,272

第80回国民体育大会審判員・要資格運営員養成年次計画
【資格維持・資質向上】

No.	内訳 競技名	養成(資格維持・資質向上)年次計画									計
		H29 (8年前)	H30 (7年前)	H31 (6年前)	H32 (5年前)	H33 (4年前)	H34 (3年前)	H35 (2年前)	H36 (1年前)	H37 (開催年)	
1	陸上競技	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	水泳	74	74	86	98	107	124	141	158	170	1,032
3	サッカー	7	10	13	17	21	26	31	36	37	198
4	テニス	3	3	14	29	44	59	75	93	95	415
5	ボート	35	35	35	35	35	37	37	37	37	323
6	ホッケー	0	0	0	0	2	4	4	4	4	18
7	バレーボール	25	28	28	34	34	40	41	48	52	330
8	体操	18	17	20	23	28	29	32	33	36	236
9	バスケットボール	52	52	52	52	53	54	55	56	56	482
10	レスリング	6	5	6	4	6	4	6	5	6	48
11	セーリング	2	3	5	8	9	15	19	22	22	105
12	ウエイトリフティング	15	15	15	13	13	13	13	13	15	125
13	ハンドボール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14	自転車	71	72	69	68	68	69	69	72	72	630
15	ソフトテニス	71	71	71	71	71	71	71	72	73	642
16	卓球	68	64	62	66	68	68	68	68	68	600
17	軟式野球	59	54	56	56	56	56	61	61	61	520
18	相撲	22	27	32	31	36	41	46	46	52	333
19	馬術	0	4	0	0	4	2	2	4	2	18
20	フェンシング	0	2	4	6	8	10	12	14	15	71
21	柔道	33	33	34	34	35	35	36	36	36	312
22	ソフトボール	82	89	83	88	94	94	94	94	105	823
23	バドミントン	122	135	146	142	156	167	191	207	211	1,477
24	弓道	32	32	32	32	32	32	32	32	32	288
25	ライフル射撃	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26	剣道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27	ラグビーフットボール	11	13	15	18	21	24	27	30	32	191
28	スポーツクライミング	5	8	10	13	52	90	110	127	127	542
29	カヌー	10	14	20	23	32	41	52	47	56	295
30	アーチェリー	15	15	10	10	10	15	15	12	15	117
31	空手道	7	7	7	7	7	7	7	8	8	65
32	銃剣道	2	22	10	22	42	42	42	65	65	312
33	クレー射撃	12	12	15	21	28	34	40	45	45	252
34	なぎなた	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
35	ボウリング	29	60	63	60	60	63	65	66	66	532
36	ゴルフ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
37	トライアスロン	8	15	14	27	28	43	43	55	55	288
38	高校野球	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計		896	991	1,027	1,108	1,260	1,409	1,537	1,666	1,726	11,620

第80回国民体育大会公開競技実施基本方針

第80回国民体育大会において実施する公開競技は、公益財団法人日本体育協会の定める国民体育大会開催基準要項及び同細則、国民体育大会公開競技実施基準並びに第80回国民体育大会開催基本方針に基づき、次の方針により実施する。

1 実施目的

- (1) 国体を契機として、競技の普及及びスポーツの振興を図り、生涯スポーツの実現を推進する。
- (2) 県民が多くのスポーツに触れ合う機会を増やすことにより、健康・体力の保持増進、競技力の向上が図られ、併せて多くの人達との新たな交流により地域が活性化するなど「スポーツが盛んな青森県」の実現を目指す。

2 実施競技の選択

実施競技は、第80回国民体育大会実施予定競技選択基本方針に基づき、次の事項について総合的に検討し、綱引、ゲートボール、武術太極拳、パワーリフティング、グラウンド・ゴルフ、バウンドテニス、エアロビックの7競技から選択する。

- (1) 競技を実施することにより、国体終了後においても、県内での当該競技の普及・振興が推進されること。
- (2) 当該県競技団体の組織が整備されており、競技運営能力があること。
- (3) 当該中央・県競技団体の開催意欲とともに、市町村の開催希望があること。

3 会場地市町村の選定

会場地は、第80回国民体育大会会場地市町村選定基本方針に基づき、次の事項について総合的に検討し、選定する。

- (1) 市町村と競技団体の意向が合致すること。
- (2) 実施する公開競技の普及・振興を推進する市町村であること。
- (3) 実施する公開競技の開催に必要な競技施設を有する市町村であること。

4 実施方法、実施時期及び期間

- (1) 実施方法及びその他の必要な事項は別に定める。
- (2) 実施時期は平成37年4月1日から閉会までの期間とする。ただし、総合開・閉会式当日は除くものとする。
- (3) 実施期間は、4日間を上限とする。

5 業務分担及び経費負担

- (1) 競技会の準備及び開催運営に係る業務は、当該中央競技団体が主導で行うものとし、その経費については、当該中央競技団体の負担とする。
- (2) 参加料、参加者旅費等、当該競技会参加に関する経費については、原則として競技会参加者の自己負担とする。

第80回国民体育大会デモンストレーションスポーツ実施基本方針

第80回国民体育大会において実施するデモンストレーションスポーツ（以下「デモスポ」という。）は、公益財団法人日本体育協会の定める国民体育大会開催基準要項及び同細則、国民体育大会デモンストレーションスポーツ実施基準並びに第80回国民体育大会開催基本方針に基づき、次の方針により実施する。

1 実施目的

- (1) デモスポの実施により、県民の国体への参加機会をより多く設けるとともに、県内各地で地域住民がスポーツに取り組む習慣が身につく、スポーツが地域に定着する大会を目指す。
- (2) デモスポを通じて、地域スポーツの普及・推進を図り、健康・体力の保持増進及び、各地域が元気で活力に満ちた姿になることを目指す。
- (3) デモスポへの参加を通じて世代間や地域間の交流の輪を広げ活力ある地域づくりを目指す。

2 実施競技の選択

実施競技は、第80回国民体育大会実施予定競技選択基本方針に基づき、次の事項について総合的に検討し、選択する。

- (1) 正式競技、特別競技及び公開競技以外の競技で、公益財団法人青森県体育協会に加盟、又は推薦する競技・レクリエーションであること。
- (2) 広く県民に普及していること、又は普及する見込みがあること。
- (3) 競技団体の組織が整備されており、大会運営能力があること。
- (4) 原則として、既存施設での開催が可能であること。
- (5) 市町村及び競技団体の開催希望があること。

3 会場地市町村の選定

会場地は、第80回国民体育大会会場地市町村選定基本方針に基づき、次の事項について総合的に検討し、選定する。

- (1) 実施するデモスポの普及・振興を推進する市町村であること。
- (2) 実施するデモスポの開催に必要な競技施設を有する市町村であること。

4 実施方法、実施時期及び期間

- (1) 実施方法及びその他の必要な事項は別に定める。
- (2) 実施時期は、平成37年4月1日から閉会までの期間とする。ただし、総合開・閉会式当日は除くものとする。
- (3) 実施期間は原則として1日とする。

5 業務分担及び経費負担

業務分担及び経費負担は第80回国民体育大会県及び会場地市町村の業務分担・経費負担基本方針の定めるところによる。

第80回国民体育大会広報基本方針

第80回国民体育大会（以下「大会」という。）の広報活動は、第80回国民体育大会開催基本方針に基づき、開催意義を広く周知し、その理解を深めることにより、大会への参加意識の高揚を図り、県民の積極的な参加を実現するとともに、大会開催と青森の魅力を全国に発信するため、次のとおり実施する。

- 1 県・市町村、関係機関・団体、企業、NPO、ボランティア団体、本県ゆかりのアスリート等との緊密な連携と協力のもとに、各種の広報媒体を計画的かつ効果的に活用し、大会の積極的な広報に努める。
- 2 報道機関との連携や多様なメディアの活用により、大会に関する情報を迅速かつ広域的に伝達するとともに、青森のあらゆる魅力を全国に発信する。
- 3 大会を象徴し、広く県民に愛されるような大会愛称やスローガン、マスコット等を制定し、その普及を図ることにより、大会開催の機運を高める。
- 4 大会の記録映像及び記録写真集等を制作し、その感動と興奮を永く記録にとどめ、大会開催の成果を青森の財産として未来へ継承する。

第80回国民体育大会広報基本計画

第80回国民体育大会（以下「大会」という。）の広報活動については、第80回国民体育大会広報基本方針に基づき、次の広報活動を積極的かつ効果的に推進する。

1 愛称・スローガン等による広報

大会を象徴する愛称・スローガン等を制定し、普及する。

- (1) 愛称・スローガン等の制定及び普及
- (2) マスコットの制定及び普及
- (3) イメージソング等の制定及び普及

2 印刷物等による広報

各種印刷物の作成、既存の広報紙等の活用及び各種広報物品を作成し、積極的な広報活動を展開する。

- (1) 広報紙の発行
- (2) ポスター、パンフレット、リーフレット等の作成
- (3) 各種ガイドブックの作成
- (4) 県・市町村、関係機関・団体及び企業等の刊行物（広報紙等）の活用
- (5) 広報グッズ等の作成

3 多様なメディアによる広報

報道機関との連携及びインターネットなど多様なメディアの活用により、迅速かつ広域的な広報活動の展開を図る。

- (1) 新聞、ラジオ、テレビ等による広報活動の推進
- (2) 県、市町村の広報活動の活用
- (3) ホームページ、ソーシャルメディア等の活用

4 イベント等による広報

大会開催までの節目などにおいてイベントを開催するとともに、各種イベント等と連携した広報活動を実施する。

- (1) 開催内定イベント、開催決定イベント等の開催
- (2) 県・市町村、関係機関・団体、企業、NPO、ボランティア団体、県内公立・私立学校、大学等において実施する各種イベント等におけるPR活動等の実施

5 屋外広告物による広報

広告塔や横断幕等を設置して大会開催の広報に努める。

- (1) 広告塔、歓迎塔、歓迎アーチ等の設置
- (2) 横断幕、懸垂幕等の設置
- (3) 案内板、カウントダウンボード等の設置

6 映像による広報

県民の参加意識の高揚を図るため、映像を活用した広報を実施する。

- (1) 前回国体（あすなろ国体）や国体先催県の記録映像（DVD等）の貸出及びホームページ上での公開
- (2) 広報用映像（DVD等）の制作及び貸出

7 記録映像等の制作

大会の成果を永く記録にとどめるため、記録映像等を制作する。

- (1) 大会記録映像（DVD等）の制作
- (2) 大会記録写真集の制作

8 参加章等の作成

大会の開催を記念し、大会参加章や記念章等を作成する。

- (1) 参加章、記念章等の作成
- (2) 記念グッズ等の作成

9 その他

その他、第80回国民体育大会広報基本方針に基づき、効果的な広報を実施する。

なお、大会開催時の報道活動に関し、その円滑な運営を図るため、報道機関による組織を別途設置する。

第80回国民体育大会マスコットキャラクター

1 制定目的

第80回国民体育大会開催基本方針、広報基本方針及び広報基本計画に基づき、大会の広報活動の一つとして、大会を象徴し、広く県民に愛されるようなマスコットキャラクターを制定し、国体開催の機運を高める。

2 第80回国民体育大会マスコットキャラクター

※ 今後、開催5年前に開催内定となった後、所要の手続きを経て、公式のマスコットキャラクターとなる。

『アップリート君』



3 選定理由

アップリート君は、平成19年度に開催された第20回全国スポーツ・レクリエーション祭『スポレクあおもり2007』のマスコットキャラクターとして、公募により選定し、誕生した。

祭典PR活動中から人気が高まり、祭典終了後も活躍を期待する声が多かったことから、平成20年4月からは、『青森県民のスポーツ・健康づくりのマスコット』として引き続き使用されている。

平成29年度に実施した第80回青森国体に向けたアンケートでも、アップリート君は認知度が高く、アップリート君を国体のマスコットキャラクターとするという意見が多かった。

4 マスコットキャラクターの国体仕様デザインの作成

国体のマスコットキャラクターであることを表すデザインとするため、今後、炬火のトーチをキャラクターの手に持たせて、ユニフォームを着用させる等の国体仕様とする。

また、各競技等に対応する展開型のデザインを必要に応じて作成する。

第80回国民体育大会会場地市町村第三次選定

○正式競技

【市町村別】

No	市町村名	競技・種目名	種別	開催予定施設	
1	青森市	水泳	競泳	全種別	(仮称)新青森県総合運動公園水泳場
			水球	少年男子	
			AS	少年女子	
			OWS	男女	青森市特設OWS会場
2	おいらせ町	軟式野球	成年男子	おいらせ町下田公園野球場	
3	六ヶ所村			六ヶ所村大石総合運動公園第三球場	
4	県外	水泳	飛込	全種別	※今後調整

【競技別】

No	競技・種目名	種別	市町村名	開催予定施設	
1	水泳	競泳	全種別	青森市	(仮称)新青森県総合運動公園水泳場
		水球	少年男子		
		AS	少年女子		
		OWS	男女		
		飛込	全種別	県外	※今後調整
2	軟式野球	成年男子	おいらせ町	おいらせ町下田公園野球場	
			六ヶ所村	六ヶ所村大石総合運動公園第三球場	

※AS＝アーティスティックスイミング
(平成30年4月1日にシンクロナイズドスイミングから名称変更)

○公開競技

【市町村別】

No	市町村名	競技・種目名	種別	開催予定施設
1	十和田市	バウンドテニス	全種別	十和田市総合体育センター
2	平川市	グラウンド・ゴルフ	全種別	平川市陸上競技場、平賀多目的広場、平賀ドーム
		エアロビック	全種別	(仮称)平川市民体育館
3	平内町	綱引	全種別	平内町立体育館
4	藤崎町	パワーリフティング	全種別	スポーツプラザ藤崎

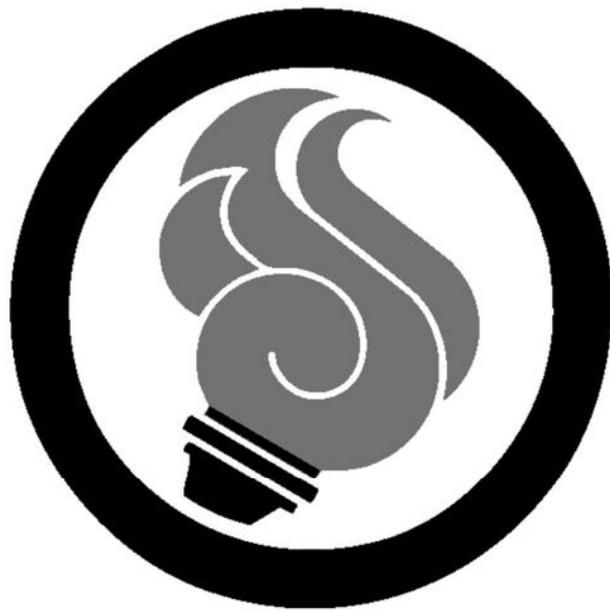
【競技別】

No	競技・種目名	種別	市町村名	開催予定施設
1	綱引	全種別	平内町	平内町立体育館
2	パワーリフティング	全種別	藤崎町	スポーツプラザ藤崎
3	グラウンド・ゴルフ	全種別	平川市	平川市陸上競技場、平賀多目的広場、平賀ドーム
4	バウンドテニス	全種別	十和田市	十和田市総合体育センター
5	エアロビック	全種別	平川市	(仮称)平川市民体育館

(留意事項)

開催予定施設は、現時点で競技を開催できる能力を有する施設として判断したものであり、今後、中央競技団体正規視察の結果等により、会場の追加・変更等が生じる場合がある。

第80回国民体育大会開催基本構想 (素案)



年 月

第80回国民体育大会青森県準備委員会

目 次

はじめに 第80回国民体育大会開催基本構想の策定に当たって ～48年ぶりの青森県開催に向けて～	P.○
第1章 第80回国民体育大会の開催に向けて	P.○
1 国民体育大会とは	
2 国民体育大会のあゆみ	
3 国民体育大会の課題と改革	
4 青森県での開催意義	
第2章 第80回国民体育大会の基本目標と目指す方向	P.○
1 基本目標	
2 目指す方向	
第3章 基本目標の実現に向けた取組	P.○
1 県民の誰もがスポーツに親しむ国体	
2 県民が自発的、積極的に参加する国体	
3 来県者を熱い心でおもてなしする国体	
第4章 「スポーツが盛んな青森県」の実現に向けて	P.○

はじめに 第80回国民体育大会開催基本構想の策定に当たって ～48年ぶりの青森県開催に向けて～

国民体育大会は、昭和21年（1946年）に京都を中心とした京阪神地域で第1回が開催されて以来、都道府県持ち回りで開催されている国内最大のスポーツの祭典であり、国民の健康増進と体力向上、地方スポーツの振興と地方文化の発展等に寄与してきました。

青森県では、昭和52年（1977年）に「心ゆたかに 力たくましく」のローガンの下、第32回国民体育大会「あすなる国体」が、初の完全国体（冬季、夏・秋季の全種目を同一県内で開催）により県内各地で開催し、本県のスポーツ振興に多大な影響を与えるとともに、完全国体を成し遂げた県民の自信と誇りは、その後の県勢発展の大きな原動力となりました。

前回開催から48年ぶりとなる2025年に青森県で第80回国民体育大会を開催します。

この開催基本構想は、「青森県基本計画」において本県が目指す「スポーツが盛んな青森県」を踏まえ制定した「第80回国民体育大会開催基本方針（平成28年8月31日 第80回国民体育大会青森県準備委員会第1回総会決定）」に基づき、大会の開催及び開催準備の指針となる基本目標とその実現に向けた方向性を明らかにするものです。

第1章 第80回国民体育大会の開催に向けて

1 国民体育大会（国体）とは

国体は、広く国民の間にスポーツを普及し、国民の健康増進と体力の向上を目指し、地方スポーツの推進と地方文化の発展を図ることを目的として、毎年開催されている国内最大の国民スポーツの祭典です。

「冬季大会」と「本大会」の競技得点の合計を競う都道府県対抗方式で開催され、天皇杯（男女総合成績1位）・皇后杯（女子総合成績1位）の獲得を目指し、都道府県代表の選手が各競技で熱い戦いを繰り広げます。

青森県で開催する国体では、競技得点の加点対象となる「正式競技」のほか、「特別競技」、「公開競技」、「デモンストレーションスポーツ」といった競技を実施することになります。

第80回国民体育大会（本大会）における実施予定競技

区分	競技名
正式競技（37競技）	陸上競技、水泳、サッカー、テニス、ボート、ホッケー、バレーボール、体操、バスケットボール、レスリング、セーリング、ウエイトリフティング、ハンドボール、自転車、ソフトテニス、卓球、軟式野球、相撲、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、スポーツクライミング、カヌー、アーチェリー、空手道、銃剣道、クレール射撃、なぎなた、ボウリング、ゴルフ、トライアスロン
特別競技（1競技）	高等学校野球
公開競技（7競技）	綱引、ゲートボール、武術太極拳、パワーリフティング、グラウンド・ゴルフ、バウンドテニス、エアロビック
デモンストレーションスポーツ	地方スポーツの推進、国民の健康増進・体力の向上等をはじめ、国民のスポーツ推進を図るため、県内居住者を対象として実施する競技（今後選定）

2 国民体育大会のあゆみ

国体は、戦後の混乱期の中で国民に希望と勇気を与えるため、昭和21年（1946年）に、京都を中心とした京阪神地域で第1回大会が開催されて以来、毎年、各都道府県の持ち回りで開催されています。

昭和23年（1948年）の第3回福岡県大会から都道府県対抗方式が確立し、天皇杯と皇后杯が創設されました。

昭和63年（1988年）の第43回京都府大会から2巡目に入り、全国を東

地区（北海道・東北・関東）、中地区（北信越・東海・近畿）、西地区（中国・四国・九州）の3つに分けて輪番制で開催されています。

当初は、冬季、夏季、秋季の3会期で実施されていた国体は、平成18年（2006年）の第61回兵庫県大会から夏季大会と秋季大会が統合され、以降は冬季大会と本大会の2会期として開催されています。

なお、平成13年（2001年）の第56回宮城県大会からは、国体開催後、開催県で全国障害者スポーツ大会が開催されています。

3 国民体育大会の課題と改革

第1回大会が開催されて以来、半世紀以上が経過する中で、国内のスポーツレベルの向上と国際化により、トップアスリートが国際大会に関連する大会への出場を重視し、国体への参加を見送ることや、地方自治体の財政状況が厳しさを増す中で、開催地に求められる人的、財政的負担感が増大したことなど、国体を取り巻く状況は変化してきました。

このような状況を踏まえて、公益財団法人日本体育協会（現公益財団法人日本スポーツ協会 以下「日本スポーツ協会」とする。）では、平成15年（2003年）3月に「新しい国民体育大会を求めて～国体改革2003～」を策定し、「大会の充実・活性化」と「大会運営の簡素・効率化」の観点から、トップアスリートの参加促進、夏季大会と秋季大会の一本化、総参加数の削減など、新しい国体に向けた各種改革の取組を進め、さらに、平成25年（2013年）3月には「21世紀の国体像～国体ムーブメントの推進～」を策定し、少年種別の充実や各競技会の実施規模等の見直しなどの取組も進めているところです。

また、オリンピック・パラリンピック競技大会の開催都市が東京都に決定したことを受け、平成26年（2014年）6月には「国民体育大会における2020年オリンピック対策実行計画」を策定し、継続的なアスリートの発掘・育成・強化の促進のために、オリンピック競技大会の実施競技等で国体において未実施の競技等の一部を追加して競技会を実施しています。

日本スポーツ協会では、引き続き、大会開催経費の負担軽減等、各種諸課題について国体改革の取組を推進することとしています。

4 青森県での開催意義

国体は、国内最大のスポーツの祭典であると同時に、国内トップレベルの競技を身近に観戦することができる絶好の機会であり、全国から沢山の参加者が県内各地を訪れることとなります。また、デモンストレーションスポーツの実施により、競技スポーツばかりではなく、県民の誰もが気軽に参加できる生涯スポーツの推進も図られます。

このような中、青森県で国体を開催することは、県民のスポーツに対する興味・関心を高めるほか、スポーツによる地域の活性化やスポーツを通じた健康づくりや生きがいつくりの推進、次代を担う子どもたちに夢や希望を与えるなど、本県にとって、新たな活力の創出に繋がるという意味で、大いに意義があり、全国から訪れる多くの参加者へ本県のあらゆる魅力を発信できる貴重な機会でもあります。

第2章 第80回国民体育大会の基本目標と目指す方向

1 基本目標

オールあおもりで感動を創出し、県民のレガシー（遺産）とする

青森県で開催する第80回国民体育大会が、県民力を結集し、青森らしさあふれる大会となるよう、開催準備段階から感動が創出されるとともに、様々な取組が開催後の本県活力へ繋がることを目指して、「オールあおもりで感動を創出し、県民のレガシー（遺産）とする」ことを基本目標と定めます。

また、基本目標の実現に向けて次の3つの項目を大きな柱として、様々な取組を展開していきます。

2 目指す方向

（1）県民の誰もがスポーツに親しむ国体

本県選手が活躍するとともに、県民の誰もが、スポーツの楽しさや素晴らしさを実感し、国体開催時のみならず、開催後もスポーツに親しむ大会を目指します。

（2）県民が自発的、積極的に参加する国体

県民一人ひとりが持つ知恵や力が、開催準備段階から発揮され、開催時にそれらが結集することで、大きな県民力となる大会を目指します。

（3）来県者を熱い心でおもてなしする国体

大会に参加する来県者を心から歓迎するとともに、青森県のあらゆる魅力を発信するなど、熱い心でおもてなしする大会を目指します。

第3章 基本目標の実現に向けた取組

1 県民の誰もがスポーツに親しむ国体

(1) スポーツを通じた健康づくり、生きがいくりの推進

- ・ 県民一人ひとりが、年間を通して身近で気軽に取り組めるよう、地域におけるスポーツ教室や健康づくり教室、スポーツイベント等の情報を発信するなど、地域のスポーツ活動を推進します。
- ・ 国体開催後に開催が予定されている全国障害者スポーツ大会に向け、障害者のスポーツ活動への理解や普及・啓発、発展に努めます。
- ・ 国体実施競技のうち、デモンストレーションスポーツについては、生涯スポーツの推進のためにも、可能な限り様々な競技を県内各地で開催します。

(2) 将来にわたり持続可能な競技力の向上

- ・ 県内関係分野の機関・団体等で構成する県競技力向上対策本部による競技力向上の推進体制の充実を図ります。
- ・ 継続的な指導体制の確立のため、指導者の計画的な養成及び資質の向上を図ります。
- ・ ジュニア期からの選手の発掘を行い、国体等の全国大会や、国際大会等で活躍できる選手の育成・強化に努めます。

(3) スポーツへの関心の広がり

- ・ 県内ゆかりのアスリートによる、国体実施競技の認知度向上を図るとともに、各競技の魅力を発信します。
- ・ 県内で開催するプロスポーツや各種スポーツ大会等について、積極的に周知します。
- ・ 大会開催時には、観戦のために各競技会へ訪れる県内外の多くの方々に対応できるよう、必要な環境整備に努めます。

2 県民が自発的、積極的に参加する国体

(1) オールあおもりとなる県民運動の推進

- ・ 様々な機会を通じて県民に対し大会開催への理解を図るとともに、多様な広報媒体を活用した効果的な広報活動により開催気運の醸成を図ります。
- ・ 子どもや学生をはじめ、働き世代、高齢者など、広く県民が、自発的、積極

的に参加する多彩な県民運動を展開します。

- ・企業やNPO等が持つノウハウや発想を積極的に取り入れ、協働による取組を行うことにより、効率的・効果的な大会の開催に努めます。

(2) ボランティア等の人財育成

- ・総合開・閉会式や各競技会、総合案内所等で活躍する大会を支えるボランティアを募集・養成します。
- ・競技会の開催に当たる競技役員等について、県内競技団体と連携して計画的に養成します。

(3) 県内各地での競技会の開催

- ・多くの県民が各地域で参画し、スポーツの定着が図れるよう、正式競技、特別競技、公開競技及びデモンストレーションスポーツについて、可能な限り県内各地で分散開催します。
- ・大会運営や準備に当たっては、公共交通機関等の利用促進を図るなど、環境への配慮に努めます。
- ・同一競技を共同で開催する市町村間では、競技会開催に係る宿泊や輸送、地域の魅力発信などについて、連携した取組を進めます。

3 来県者を熱い心でおもてなしする国体

(1) あおもりのあらゆる魅力の発信

- ・あおもりの自然・歴史・文化・食・物産等のあらゆる魅力について、全国の方々に開催前から注目されるよう、観光関連団体等と連携をしながら効果的、複合的に全国へ発信します。
- ・競技会会場地周辺をはじめ、周辺市町村へも来県者が訪れたいくなるよう、地域の魅力発信に取り組みます。

(2) 来県者との交流の促進

- ・県内の駅や空港など交通の主要な場所に、来県者を歓迎し、大会や観光等の様々な情報が入手できる総合案内所を設置します。
- ・総合開・閉会式や各競技会会場では、参加選手等と県民との交流が図られるよう、機会の充実に努めます。
- ・全ての参加選手が、その力を十分に発揮できるよう、本県選手はもちろんのこと、他都道府県選手の応援も行うことで、大会全体を盛り上げます。

(3) 来県者等へのおもてなしの推進

- ・参加者や来県者、関係者等が、必要な情報を容易に入手できるよう、ICTを活用するなどした環境整備に努めます。
- ・県民一人ひとりが、来県者を歓迎し、まごころや親切心を持って接するなど、心のこもったおもてなしに努めます。

第4章 「スポーツが盛んな青森県」の実現に向けて

全国的な人口減少や少子・高齢化に加え、青森県は平均寿命が男女とも全国最下位の状況にあります。スポーツは、心身の健全な発達、健康及び体力の保持増進など、生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営む上で不可欠なものであり、県民一人ひとりが、健やかな生命と心を育み、豊かな暮らしを送ることができる活力ある長寿県（健康長寿県）を目指す青森県にとって、スポーツの推進は大変重要な要素であると言えます。

このような中、あすなろ国体以来48年ぶりに青森県で開催する国体を、様々な課題解決の絶好の機会と捉え、よりよい青森県づくりのために国体開催を成功させることはもちろんのこと、国体開催後にもその効果が持続することが重要です。

競技力の向上や地域スポーツの推進により、スポーツを「する」人が増えることは、全国大会や国際大会で多くの選手が活躍し、県民に活力を与えるとともに子どもたちへ夢や希望、勇気を与えることができます。また、多くの県民がスポーツに親しみ、日常的にスポーツに取り組むこととなり、健康長寿県へつながります。

国体開催を通じたスポーツへの関心の広がりにより、スポーツを「みる」人が増えることは、県民のスポーツへの興味・関心を高め、スポーツ観戦の楽しさや素晴らしさを理解し、プロスポーツや各種スポーツ大会が賑わい、地域経済へも好影響をもたらすことができます。

大会ボランティアや競技役員等が養成され、大会期間中を通して活躍することにより、スポーツを「ささえる」人が増えることは、国体開催後の青森県のスポーツ活動の基盤となり、地域活動への意識が醸成され、地域が更なる発展をするための活力にもなります。

このように県民が様々な形でスポーツに関わることは、県民一人ひとりの貴重な財産となり、青森県が目指す「スポーツが盛んな青森県」の実現へ向けての大きな原動力となります。国体開催後も多くの人財が活躍し、スポーツを通して地域が活性化されるよう、2025年、国内最大のスポーツの祭典である第80回国民体育大会の開催に向け、県民の総力を結集し、オールあおもりで取り組んでいきます。

国民スポーツ大会への名称変更に伴う第80回国民体育大会青森県準備委員会の名称等の改正

スポーツ基本法の改正により、「国民体育大会」が平成35年1月1日（第78回大会）以降「国民スポーツ大会」となる。このため、第80回国民体育大会青森県準備委員会（以下「県準備委員会」とする。）の名称等について下記のとおり改正する。

1 県準備委員会の名称

「第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会」に改称する。
（会則の改正案は別紙1、新旧対照表は別紙2のとおり。）

2 これまでに県準備委員会において制定した方針等

- (1) 「国民体育大会」を「国民スポーツ大会」に置き換える。
- (2) 「国体」を「国スポ」に置き換える。

※なお、第77回大会以前の名称の標記は国民体育大会（国体）とする。

3 施行日

日本スポーツ協会において国民体育大会開催基準要項を改正（第78回大会以降を「国民スポーツ大会」とする旨の改正）した日をもって施行する。

※スポーツ基本法の改正をもって名称変更となるものであるが、国民体育大会を所管する日本スポーツ協会が開催等に係る要項を定めているため。

4 留意事項

- (1) 改正後の県準備委員会の会則については、施行日以降に県準備委員会委員等へ通知する。
- (2) これまでに県準備委員会において制定した方針等に係る改正後の方針等については、次回の県準備委員会総会で報告する。

第80回国民体育大会青森県準備委員会
平成29年度事業報告

1 開催準備業務

主な業務	内容
(1) 各種基本方針等の策定	<ul style="list-style-type: none"> ・実施予定競技選択基本方針の策定 ・県及び会場地市町村の業務分担・経費負担細目の策定 ・競技役員等編成基本方針の策定 ・競技役員等養成基本方針の策定 ・競技役員等養成基本計画の策定 ・競技運営基本方針の策定 ・競技用具整備基本方針の策定 ・審判員・要資格運営員養成計画の策定 ・公開競技実施基本方針の策定 ・デモンストラーションスポーツ実施基本方針の策定 ・広報基本方針の策定 ・広報基本計画の策定
(2) 開催準備総合計画の策定	<ul style="list-style-type: none"> ・開催準備総合計画の策定
(3) 開催基本構想の策定	<ul style="list-style-type: none"> ・総務企画専門委員会開催基本構想策定検討部会で開催基本構想（素案）を審議
(4) 会場地市町村の選定	<ul style="list-style-type: none"> ・常任委員会で会場地市町村第一次・第二次選定を審議・承認し、20市町村33競技が内定
(5) 専門委員会の設置	<ul style="list-style-type: none"> ・施設専門委員会及び広報・県民運動専門委員会を設置 ・総務企画、競技運営、施設、広報・県民運動専門委員会を運営
(6) その他開催準備業務の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・マスコットキャラクター決定 ・国体開催PRポスター作成、配布

2 会議の開催

(1) 総会

会議名	開催年月日	開催場所	議案
第2回総会	平成29年5月24日	ホテル青森	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度事業報告 ・平成28年度収支決算 ・平成29年度事業計画 ・平成29年度収支予算

(2) 常任委員会

会議名	開催年月日	開催場所	議案
第2回常任委員会	平成29年4月19日	ホテル青森	<ul style="list-style-type: none"> ・実施予定競技選択基本方針 ・開催準備総合計画 ・県及び会場地市町村の業務分担・経費負担細目 ・会場地市町村第一次選定 ・競技役員等編成基本方針 ・競技役員等養成基本方針 ・競技役員等養成基本計画 ・専門委員会規程改正
第3回常任委員会	平成30年1月15日	ホテル青森	<ul style="list-style-type: none"> ・第78回～第81回国民体育大会における隔年実施競技の実施順序決定に伴う第80回国民体育大会会場地市町村第一次選定の一部内定取消 ・会場地市町村第二次選定 ・競技運営基本方針 ・競技用具整備基本方針 ・審判員・要資格運営員養成計画 ・公開競技実施基本方針 ・デモンストレーションスポーツ実施基本方針 ・広報基本方針 ・広報基本計画 ・マスコットキャラクター

(3) 専門委員会

ア 総務企画専門委員会

会議名	開催年月日	開催場所	議案
第3回総務企画専門委員会	平成29年11月1日	ウエディングプラザアラスカ	<ul style="list-style-type: none"> 開催基本構想の策定について 第78回～第81回国民体育大会における隔年実施競技の実施順序決定に伴う第80回国民体育大会会場地市町村第一次選定の一部内定取消 会場地市町村第二次選定
第4回総務企画専門委員会	平成29年12月12日	ウエディングプラザアラスカ	<ul style="list-style-type: none"> 会場地市町村第二次選定追加
総務企画専門委員会第1回開催基本構想策定検討部会	平成30年1月22日	県庁舎北棟2階A会議室	<ul style="list-style-type: none"> 開催基本構想（素案）の検討
総務企画専門委員会第2回開催基本構想策定検討部会	平成30年3月14日	県庁舎北棟2階A会議室	<ul style="list-style-type: none"> 開催基本構想（素案）

イ 競技運営専門委員会

会議名	開催年月日	開催場所	議案
第2回競技運営専門委員会	平成29年7月13日	ウエディングプラザアラスカ	<ul style="list-style-type: none"> 競技運営基本方針 競技用具整備基本方針 審判員・要資格運営員養成計画
第3回競技運営専門委員会	平成29年10月26日	ウエディングプラザアラスカ	<ul style="list-style-type: none"> 公開競技実施基本方針 デモンストラーションスポーツ実施基本方針 審判員・要資格運営員養成計画の修正

ウ 施設専門委員会

会議名	開催年月日	開催場所	説明・報告
第1回施設専門委員会	平成29年8月30日	ウエディングプラザアラスカ	<ul style="list-style-type: none"> 会場地市町村第一次選定競技施設概要 競技関連施設等概念図

エ 広報・県民運動専門委員会

会議名	開催年月日	開催場所	議案
第1回広報・ 県民運動専 門委員会	平成29年7月20日	ウエディン グプラザア ラスカ	・ 広報基本方針 ・ 広報基本計画
第2回広報・ 県民運動専 門委員会	平成29年12月18日	ウエディン グプラザア ラスカ	・ マスコットキャラクター ・ 国体開催PRポスターのデザイン

(4) 市町村・競技団体担当者会議

会議名	開催年月日	開催場所	説明事項
第1回会場 地市町村・ 競技団体担 当者会議	平成29年10月23日	県総合学校 教育センタ ー	・ 中央競技団体正規視察準備事務の手 引き ・ 会場地市町村準備委員会設置の手引 き
第1回公開競 技・デモン ストレーシ ョンスポ ーツ担当 者会議及び第 2回市町村担 当者会議	平成30年1月24日	県総合社会 教育センタ ー	・ 国民体育大会の概要について ・ 準備委員会について ・ 公開競技について ・ デモンストレーションスポーツにつ いて

3 各種調査の実施

主な調査	内容
市町村・競技団体ヒアリング	・ 会場地市町村選定に向けたヒアリング
先催県の情報収集	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第72回国民体育大会（愛顔^{えがお}つなぐえひめ国体）の運営状況等の視察 ・ 平成29年度開催県検討会議（三重県、栃木県）で意見交換及び施設調査 ・ 第72回国民体育大会開催地連絡協議会（愛媛県）で開催県から業務運営等に関する情報提供 ・ 先催県の準備状況の調査（三重県）

4 協議・連絡調整の実施

主な調整先	内容
公益財団法人日本体育協会 (現公益財団法人日本スポーツ協会)	・平成29年度国民体育大会委員会への出席

第80回国民体育大会青森県準備委員会
平成29年度収支決算

収入決算額 5,843,700円
支出決算額 5,843,700円
差引残額 0円

1 収入の部

(単位：円)

科目	予算額	補正額	現計予算額 A	決算額 B	差引額 A-B	備考
県負担金	8,736,000	0	8,736,000	5,843,649	2,892,351	
諸収入	0	0	0	51	△ 51	預金利息
合計	8,736,000	0	8,736,000	5,843,700	2,892,300	

2 支出の部

(単位：円)

科目	予算額	補正額	現計予算額 A	決算額 B	差引額 A-B	備考
事業費	3,720,000	0	3,720,000	2,127,911	1,592,089	総会等の会議開催経費 開催PRポスター作成経費
事務局費	5,016,000	0	5,016,000	3,715,789	1,300,211	事務局運営経費
合計	8,736,000	0	8,736,000	5,843,700	2,892,300	

第80回国民体育大会青森県準備委員会 平成30年度事業計画

第80回国民体育大会青森県準備委員会の平成30年度事業計画は、次のとおりとする。

1 開催準備業務

- (1) 各種基本方針等の策定
- (2) 開催基本構想の策定
- (3) 会場地市町村の選定
- (4) 専門委員会の運営
- (5) 競技役員等の養成
- (6) 愛称・スローガンの募集
- (7) その他開催準備業務の推進

2 会議の開催

- (1) 総会
- (2) 常任委員会
- (3) 専門委員会（総務企画、競技運営、施設、広報・県民運動）
- (4) 市町村・競技団体担当者会議

3 各種調査の実施

- (1) 市町村ヒアリング・競技団体ヒアリング
- (2) 先催県の情報収集

4 協議・連絡調整の実施

公益財団法人日本スポーツ協会及び関係機関・団体との連絡調整

第80回国民体育大会青森県準備委員会
平成30年度収支予算

第80回国民体育大会青森県準備委員会の平成30年度収支予算は、次のとおりとする。

1 収入の部

(単位：千円)

科 目	本年度予算額	うち暫定予算額	説明
負担金	13,040	10,386	青森県負担金
合 計	13,040	10,386	

2 支出の部

(単位：千円)

科 目	本年度予算額	うち暫定予算額	説明
事業費	8,926	8,048	総会、常任委員会及び専門委員会等会議開催経費、広報啓発費、競技役員等養成費
事務局費	4,114	2,338	事務局運営費
合 計	13,040	10,386	